

Figure 4. H5N1型鳥インフルエンザ感染者の生存例4人と死亡例8名のタミフルを使ったタイミング, Thailand, 2004.

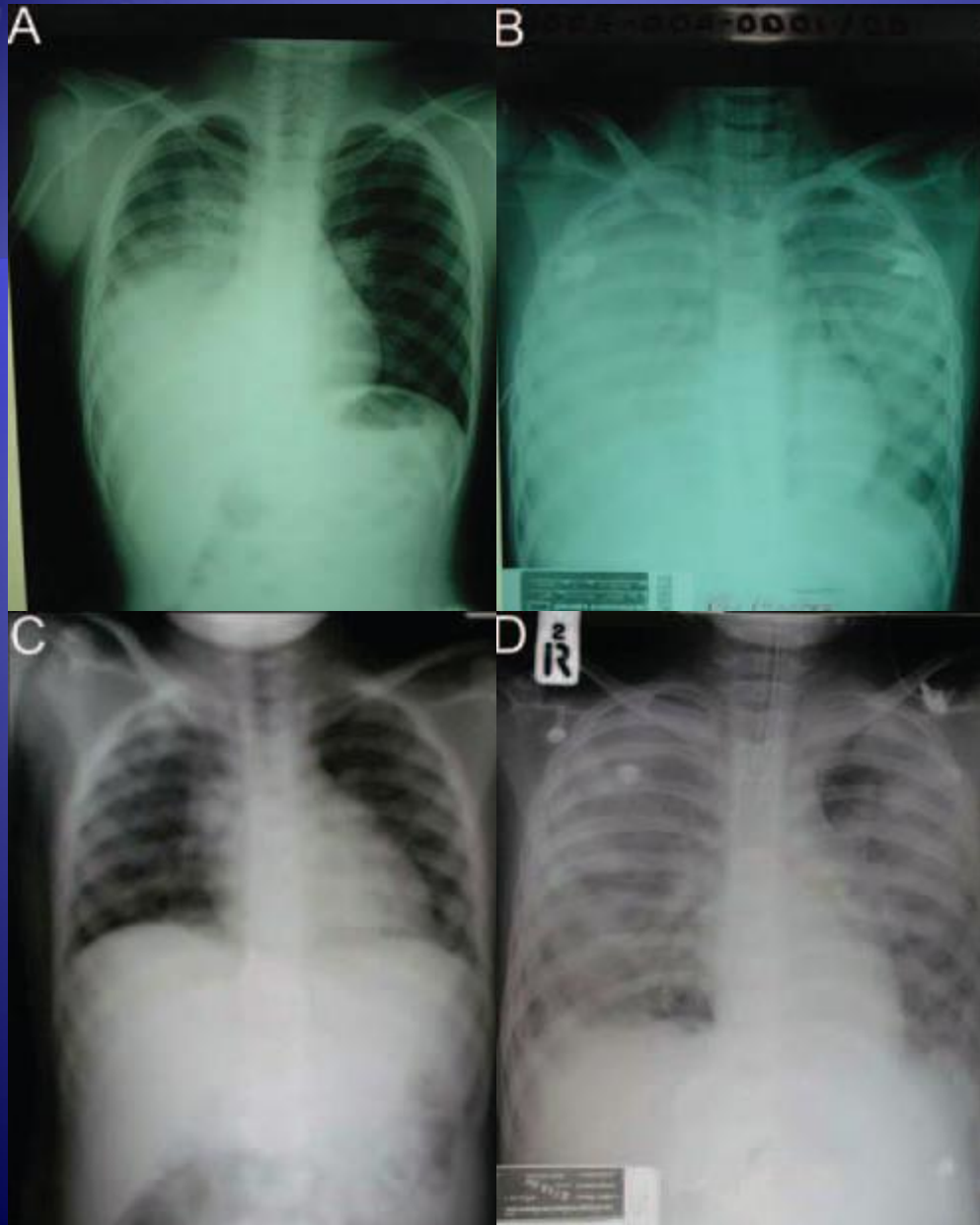


Figure 3. Chest radiographs from patients
patient#9
Panel A : 第 5 病日
右下肺に斑状の肺胞性浸潤像
Panel B: 第 8 病日
ARDSに進行した
Patient#8
Panel C: 第 4 病日
両側性の間質性浸潤影
Panel D 第 6 病日
急速にARDSに進行した

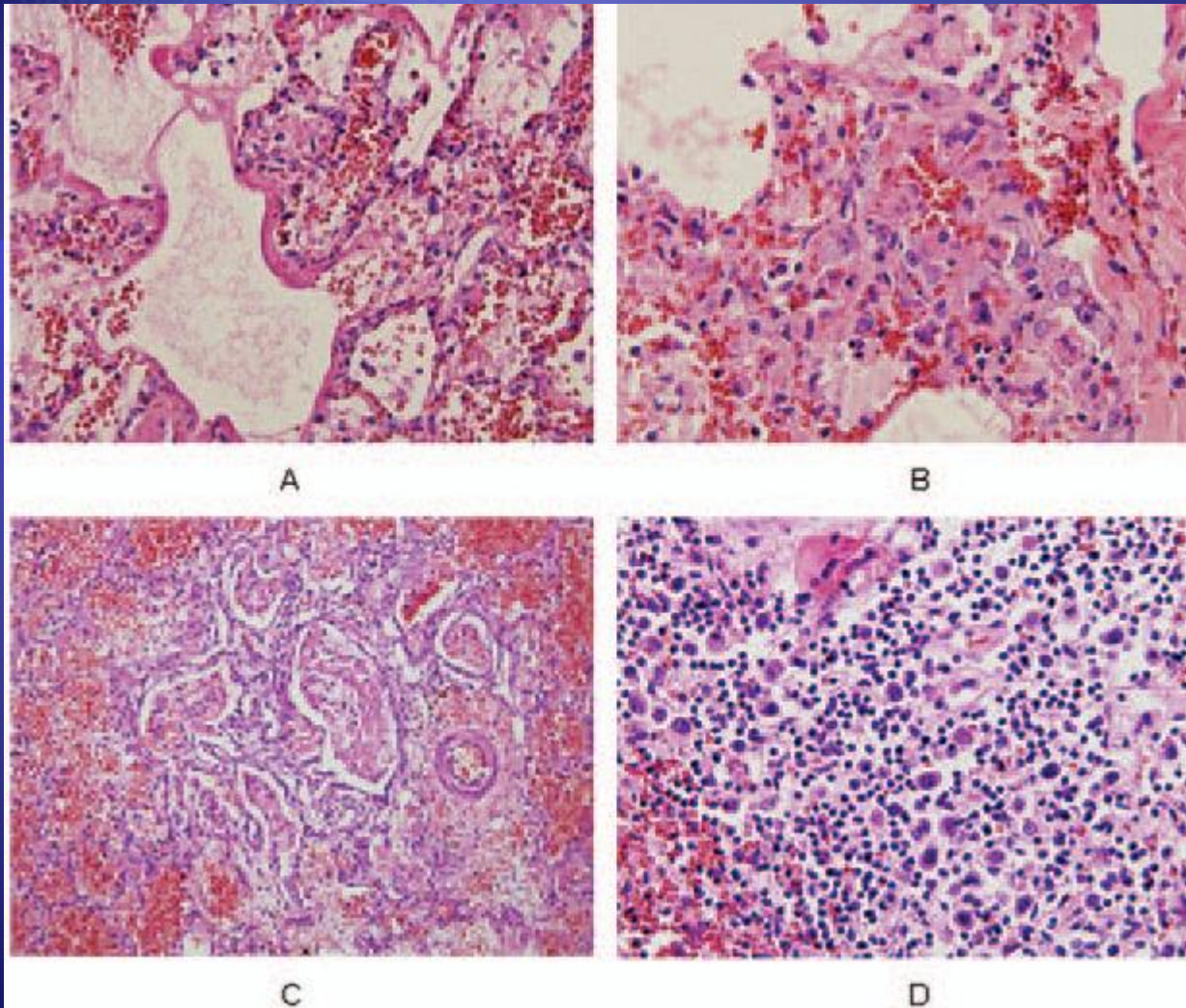


Figure 5. 第6例患者の病理像
Panel A : 肺胞腔の裏打ちするヒアリン膜形成、血管のうっ血、間質へのリンパ球浸潤、反応性の線維芽細胞が見られる

Panel B : 線維芽細胞の増殖が間質に見られる部分。リンパ球がほとんど見られず、核内封入体も見られない

Panel C : 肺胞腔に線維性の分泌物、肺胞の再構築が見られる。ヒアリン膜はほとんど見られない。周囲の肺胞腔には出血が。Panel D : 脾臓

無数の異形リンパ球を認める。

(around the white pulp). ウイルスの核内封入体は見られない。